

食品産業グリーンプロジェクトの推進に対する支援

＜未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち資源・環境対策＞

【302百万円】

対策のポイント

食品廃棄物の再生利用等実施率を向上させるため、①資源利用の最適化に向けたフードチェーン全体でのシステム構築と②食品廃棄物を最大限に活用するためのリサイクル手法の多様化を推進します。

＜背景／課題＞

- ・食品廃棄物の再生利用等実施率をみると、平成13年度の37%から平成19年度で54%に達するなど着実に進展。しかしながら、食品廃棄物の発生量は増加基調が続いており、発生抑制は進んでいない状況。
- ・食品由来の廃棄物約1,900万トンのうち、食べられるものの廃棄いわゆる食品ロスは500～900万トン。（平成17年度データによる推計）
- ・個々の食品関連事業者や業種単位で食品ロス削減への取組が行われているが、フードチェーンが複層化し、食品が廃棄される要因や廃棄物の態様も多様であることから、その削減等には業種横断的な取組が必要。

政策目標

食品廃棄物の再生利用等実施率の向上（19年度実績→24年度目標）

- ・食品製造業：81%→85%
- ・食品卸売業：62%→70%
- ・食品小売業：35%→45%
- ・外食産業：22%→40%

＜内容＞

1. 食品リサイクル・ループなど地域資源循環システムの構築

- ① 食品リサイクル・ループの構築に向けた、食品関連事業者、再生利用事業者及び農業者による
 - ア 適切な食品リサイクル技術の導入、リサイクル肥飼料の生産現場での実証、リサイクル肥飼料を利用した農畜産物の販売計画の策定等
 - イ 食品関連事業者の事業場にその場で食品廃棄物を肥飼料化するための設備の導入
 - ② 小口かつ分散した食品廃棄物を効率的に収集するための物流の共有化等経済的なリサイクルシステムの構築
- を支援し、エネルギー効率の良い地域循環型の食品リサイクルを促進します。

補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：民間企業等

2. 業種別発生抑制の具体的方策の検討など食品ロス削減に向けた取組の支援

- ① 食品廃棄物の業種別発生抑制の具体的方策の検討とその取組の実証
- ② フードバンク活動を行おうとする団体、食品を提供する食品事業者等による具体的活動体制の整備

等を支援し、フードチェーン全体で食品ロスの削減を促進します。

補助率：定額
事業実施主体：民間企業等

3. 技術の改良による食品廃棄物の新規用途開発の推進

これまでに開発された技術の改良により、食品廃棄物の新規用途開発に向けた事業化を図るための取組や、その成果の関係事業者向けの説明会等の実施を支援します。

補助率：定額、1／2以内
事業実施主体：民間企業等

[お問い合わせ先：総合食料局食品産業企画課（03-6744-2066（直））]

食品産業グリーンプロジェクトの推進に対する支援 <未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち資源・環境対策> 【302百万円】

食品廃棄物の再生利用等実施率を向上させるため、①資源利用の最適化に向けたフードチェーン全体でのシステム構築と②食品廃棄物を最大限に活用するためのリサイクル手法の多様化を推進。

